

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
13	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	市職員に対する男女共同参画推進事業	平成22年度は男女共同参画庁内推進体制を拡大し、全庁各課に統括推進員と推進員を配置し、全庁各課の推進員に対し、各課における男女共同参画プラン行動計画に関する取組状況や課内環境等についてのヒアリングを実施するとともに、統括推進員を参集し、男女共同参画庁内推進会議を開催する。 また、職員ポータルを活用し、男女共同参画の事業や関連情報を継続的に発信するとともに、グループワークを取り入れた研修会「活かせ！若手リーダーのマネジメント力」を実施する。	8	163	男女共同参画推進員の研修を兼ねながら担当者説明会を実施した。職員ポータルへの情報提供や、庁内推進体制を拡大し全庁各課に男女共同参画推進員および統括推進員を設置することで、男女共同参画を意識する職員を増やし、市の事業全般に男女共同参画の視点を取り入れることができる。
14	企画部 男女共同参画・ 交流推進課	国際交流員(CIR)異文化理解出前講座	国際交流員(CIR)が国の言葉や文化、伝統的な遊び等の紹介を行い、市内の幼稚園児や保育園児、小・中学生や高校生、また一般団体の参加者などを対象に、異文化(韓国文化)を伝える。	20	1119	韓国文化をとおして、日本と違う文化について理解するきっかけとなった。また、異文化に触れることによって、自分(地域や日本)を再認識するきっかけとなったほか、国際交流員の存在を広めることができた。
15	市民生活部 環境課	ごみ講話	団体等の要望に応じて「ごみに関する講話」を実施し、平成22年度から全地域で取り組む使用済食用油の回収および粗大ごみの排出方法等について啓発を行い、ごみの減量化とリサイクルを推進していく。	6	292	それぞれの意識の向上により、家庭から排出されるごみは減量やリサイクルに結びつくことから、各種団体にごみについての講話を行うことで、ごみ減量化や分別の効果が高まることが期待される。
16	市民生活部 環境課	民間事業所の広告媒体を活用した「ごみ減量」の啓発	「ごみの減量化」や「地球温暖化防止」への市民の自覚を促すため、遊技場(パチンコ店)の電子広告媒体を活用し、ごみ減量化や地球温暖化防止についての標語掲示、また大仙市ごみ減量キャラクター(ごみナビくん)を店舗広告の合間に掲示することで、広く市民への周知を図る。	随時	-	ごみ減量等に関する標語を掲示している電子広告掲示板は、交通量の多い県道沿いにあるため、高いPR効果を得られた。
17	農林商工部 農林振興課	鮭の稚魚の成長観察	秋に玉川漁場で採捕し、市営水産ふ化場にて受精させた鮭の卵を、希望する市内小学校へ配布し、ふ化の瞬間とその後の成長観察、給餌等の作業を体験させ河川に放流する。ふ化場では、水槽の設置、放流までの飼育についてサポートする。	5	80	誕生から放流されるまでの鮭の成長を観察し、また育成を体験することにより、自然環境や生命の大切さを学ぶことができる。

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
18	農林商工部 商業労政課	仙北地域雇用促進就職面接会	雇用環境が厳しい状況の中、求職者の就職支援と企業の人材確保を目的として、ハローワーク大曲・角館、仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町からなる「仙北地域雇用促進連絡会議」主催による就職面接会を開催する。	1	127	平成22年度は参加企業38社に対し、127人の求職者が面接や会社説明を受けた。人材を求めている企業と、働く先を探している方々との交流の場を提供し、お互いの理解を深めることにより、企業の人材確保と求職者の就職支援につなげることができた。(参加者のうち7人が当日内定を獲得。)
19	農林商工部 商業労政課	県南地区職場研修事業	新卒就職者の早期離職を解消し、県内就職を促進していくため、高校3年生や大曲技術専門学校の生徒を対象に、直接事業所を訪問する研修会を開催する。職場の雰囲気や体感し、仕事内容を理解するとともに、就職に対する認識を深めてもらうことをねらいとしている(県南の雇用開発協会と連携)。	訪問 事業所 数 35	191	大仙、仙北地域の平成23年度3月卒予定者の就職希望者のうち、研修参加者の県内就職内定状況(平成22年12月末現在)は就職希望者全体の内定率85.8%より1.7ポイント高い87.5%となった。なお、県外の内定状況では全体の97.8%より2.2ポイント高い100.0%となった。 また、参加生徒からは「今後の就職活動の参考になった」、「地元で就職して、地域と密接に関わっていききたいと思った」、「仕事のやりがいや大変さを学ぶことができた」など、高い評価を受けた。
20	農林商工部 観光物産課	JRとの連携事業「駅からハイキング」	JRが主催するウォーキングイベントである「駅からハイキング」に市内コースを提案し、案内人や休憩所等の手配に協力するとともに、当日のハイキングに同行しJRスタッフとともにスムーズな運営にあたる。	3	65	首都圏からの誘客や近隣参加者の流動により観光振興を図ることができた。JRパンフレットやホームページを通じて大仙市のさらなる観光情報発信効果が期待できる。
21	農林商工部 企業対策室	大仙市オリジナル名刺作成	市内印刷業者の協力を得て、「秋田県大仙市は企業誘致に取り組んでいます」「私は秋田県大仙市を応援しています」の一文が入り、大仙市の位置図や観光名所などを写真やイラストで紹介する、フルカラー見開きの名刺台紙を作成する。	随時	82	平成23年1月現在、市職員43、市議会7、県議会3、市内事業所10、首都圏17、計82人が大仙市オリジナル名刺を作成した。市関係者が広く大仙市をアピールすることにより企業誘致や観光振興につなげていくことが期待できる。
22	教育委員 会課	樹木の剪定及び伐採処分等事業	学校からの連絡や巡視によって発見された、枝折れや倒木の恐れがある樹木を、職員により剪定や伐採処理などの作業を行うことで解決を図る。	1	6	小学校2校において倒木の伐採・撤去や枝の剪定を実施した。業者委託せず機材等を借用し職員自ら作業を行ったことで概算で36,350円の経費削減を達成した。

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
23	教育委員会 生涯学習課 花館公民館	花館地区 歩こう会	平成22年度は山登りの経験が浅く、不安がある人にも参加しやすい機会を提供するため、マイクロバスを利用し8合目から登山(駒ヶ岳)をするミニツアーを実施する。	1	21	平成22年度は激しい雷雨のため八合目からの登山は断念した。自然に親しみながら健康増進を図りつつ参加者同士の親睦を深めることによって、コミュニティの醸成に役立つことができる。
24	教育委員会 文化財保護課	国指定名勝池田氏庭園リーフレット作成(編集及び監修協力)	国指定名勝池田氏庭園の普及啓蒙のため、「池田家顕彰会」と連携してリーフレットの作成・発行を行う。池田家顕彰会が発行経費を負担し、文化財保護課が編集協力および監修等の協力を行う。	池田氏庭園特別公開3回 + 各種視察見学会等	池田氏庭園特別公開見学者10,635	リーフレットは庭園の特別公開時や問い合わせ時の説明用として配布利用されており、文化財庭園および文化財保護についての普及啓蒙に大きな効果がある。市民団体会員による受付や解説案内ボランティアが行われているなど、文化財活用分野において市民と行政との協働が図られており、文化財の保存整備活用に対する市民の理解と支援も広がりを見せている。
25	教育委員会 文化財保護課	市民等が主催して行われる講座や座談会等への講師派遣事業	文化財保護についての普及啓蒙を図るため、公民館によって主催される講座をはじめとして、地域の生涯学習団体や町内会・婦人会によって行われる講座・座談会等に職員が訪問し文化財保護をテーマに講演などを行う。	5	290	文化財の普及啓蒙や生涯学習活動の推進について効果があった。今後は、既存資源活用の観点から展示会・文化財公開・現場公開等を含めた各種ゼロ予算事業の実施を検討する必要がある。
26	教育委員会 文化財保護課	大仙市文化財めぐり	大仙市内における国県市指定文化財の普及啓蒙を図り文化財への関心を深めながら文化財への愛護精神を築いてもらうことを目的として、文化財の所有者や保存会・ボランティア団体等に協力を仰ぎながら、大仙市内の各地域に保存・伝承されている文化財をめぐるツアーを行う。今年度のコースは「東北の左甚五郎と呼ばれた円満造さんの作品鑑賞」(中仙～仙北市・角館町～仙北地域)。	1	20	受付開始とともに申し込みは定員となり市民の関心の高さが伺えた。参加者はコースを見学することで、文化財に対して理解を深め、同時に愛護精神を深めることができた。

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
27	教育委員会 総合市民会館 (中仙市民会館)	中仙市民会館 「バックス テージツ アー」	中仙市民会館に理解と親しみを持って利用していただくことを目的に、普段は見ることの出来ない舞台裏や音響、照明、舞台装置等の説明と実演を行う。 前半は個々の機材や装置の説明と実演、また体験コーナーを中心に行い、後半は 大曲農業高等学校太田分校の協力を得て、郷土芸能部の発表と全校民謡発表会を行い、音響・舞台装置・照明等による発表会への演出を行うことで、舞台演出の効果を実感してもらう。	1	520	催しを見るために市民会館を訪れる方から舞台裏のことを理解してもらうのは難しいことだが、実際の公演を見てもらいながら説明と実演を行ったところ、十分に理解してもらうことができた。 アンケートに「バックステージツアーに参加したことにより、裏方さんの苦勞がよくわかった。公演の楽しみ方の幅が増えた」というような声があった。
28	教育委員会 神岡分室	ふるさと発見 事業	社会教育指導員が主体となり、ふるさとの見どころを撮影したビデオやDVDを作成し、市内の小中学校に学校教材として貸し出しする。	1	関係団 体 配布数 30	平成22年度は映像作品「出羽山地の猛禽類～いのちはぐくみまほろば」を作成した。自然観察会を開催する際の学習資料として役立つだけでなく、自然保護意識の啓蒙として役立つことができた。
29	教育委員会 神岡分室	子ども自主体 験事業	子どもの自主性を育て実行力をつけるため、アウトドアを活かした料理技術を身につける「日帰りキャンプ」を実施する。	1	15	公民館職員が講師となり簡単な燻製づくり、まきの火の付け方を含めた料理づくりなどを指導した。子どもの自主性・実行力を養うことができた。
30	教育委員会 神岡分室	出前講座	地域住民の生涯学習の要望に応えるため、要請により市職員や他の講師を派遣し、身近な課題をテーマとした講座を開設する。	3	125	出前講座を全3回実施。気軽に生涯学習講師の依頼ができる環境と地域団体研修の場を提供することができた。(テーマは公民館職員による「肩のこらない楽しいお話」、「親と子の物づくりを通じたふれあい交流」、講師を迎えての「私の詩歌集」)
31	教育委員会 協和分室	仙人大学公開 講座	高齢者を対象として学習機会を提供している「仙人大学」の学習会に公開講座を加え、仙人大学生以外にも学習の機会を提供する。平成22年度は講演会「健康な生活を長く続けるために」とストレッチエクササイズを実施する。	2	エクサ サイズ 参加者 4	公開講座の一般参加者は仙人大学生と同年代の4名であった。日常の健康を維持するための大切な講演と運動をする機会となった。

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
32	教育委員会 協和分室	子ども教室 (のびのびき りん教室20 10バージョン)	職員の保育士としての資格と経験を生かし、就学前の子どもを対象に読み聞かせやゲーム、軽運動などを行う「のびのびきりん教室2010バージョン」を開催する。	4	205	就学前に子ども達が交流を深めることにより、就学への不安を軽減させることができた。また、協和市民センター「和ピア」での生涯学習奨励員との交流によって、地域に親しみをもってもらうことができた。
33	教育委員会 協和分室	自主事業におけるキッズ ルーム(託 児)開設	保育士としての資格を生かし、協和分室主催の自主事業時に協和市民センター「和ピア」においてキッズルーム(託児)の開設を行う。	-	-	今年度は、子どもや若い世代向けの事業を行わなかったためか、託児の申込みはなかった。今後は自主事業のさらなる誘客を図り、託児サービスを市民に周知し、定着させていく。
34	教育委員会 南外分室	なんがいキッズ プロジェクト「こんなに 広い私たちの 大仙」	小学校児童の「ふるさと大仙」を想う意識を涵養することを目的として、南外地域内の小学3年生を対象に、学校と公民館が連携した市内各施設、名所などを視察研修する社会科見学バスツアーを実施する。	1	37	平成22年度は、国指定史跡「払田の柵跡」～道の駅なかせん「こめこめプラザ」～株式会社北日本花火工業を見学した。参加した小学生は、花火について詳しく学び、払田の柵跡で昔の風景を思い浮かべるなど、地域を知る良い機会となった。
35	教育委員会 仙北分室	ふれあい文化 センター環境 整備大作戦	仙北ふれあい文化センターの敷地や周辺環境を向上するため、地域に根ざした『あじさいキャンパス』会員の協力を得ながら環境整備を行う。	2	37	地域の知識者の協力を仰ぎながら紫陽花の剪定の仕方や肥料のあたえ方などを学び、自宅においても活用できるような勉強会も開催した。地域の絆が高まり、かつ地域の施設への愛着を高めることができた。
36	教育委員会 仙北分室	家庭でできる エコロジー	環境問題について身近な生活の中でできることについて実践を促すため、環境課職員を講師として家庭ごみの分別・減量・再資源化・排出マナーなどについて再確認する勉強会を行う。 また、市のCO2削減についての取り組みについて学ぶほか、市のバスを利用して、ごみ処理施設(大仙美郷クリーンセンター)を見学し、ごみ処理の過程や資源循環について学ぶ。	2	19	「ゴミは、きちんと分類すれば資源として生まれ変わる」ことを再認識し、身近な環境の中でできるエコチャレンジについて見直してみる機会を提供できた。

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
37	教育委員会 太田分室	少年少女野球 教室 in おお た	プロ野球OBの好意により、大仙市スポーツ少年団太田支部野球団員を対象として、少年少女の野球技術の向上と野球を通じた地域間交流を目的とした野球教室を開催する。	1	85	プロ野球OBが指導する実技指導・学習教室であり、シーズン始めの時期ということもあいまって実戦ですぐにでも役立つ練習を行うことができた。
38	教育委員会 太田分室	太田のてらこ 屋事業	自ら学ぶ意欲と研鑽を積むことを目的に、東京学芸大学附属高等学校野球部と地元との交流事業として「読み書き算盤」のノウハウと、ひらめきのヒント・アドバイスを指導する勉強会を開催する。	2	21	東京の高校生と地元の児童・生徒の「読み書き算盤」を通じた交流は、自ら学ぶ意欲と研鑽を積む良い機会であり、本事業も今年で3年目と定着してきていることから、今後の学習効果に期待が持てる。
39	教育委員会 太田分室	ゲストティー チャー紹介事 業	小学校高学年の総合的な学習の効果をより高めるため、ゲストティーチャーとして活躍できる方々のリストを作成し、随時小学校に紹介する。	1	25	平成22年度は「室町体験学習（茶道、華道、水墨画）」を開催した。世代間交流を通じて具体的な体験授業を行うことができた。
40	教育委員会 太田分室	太田学びい教 室事業	夏休み・冬休み中を実施期間として、児童・生徒が自分で取り組みたい課題に取り組む学習会を行う。作文や感想文、英語や書道など、苦手意識の強いもの、なかなか一人では取り組みづらいものも、小・中学校の教諭や塾の講師、現役の高校生などに協力を依頼し、随時質問を受けつけることで苦手意識の克服を図る。	7	254	平成22年度は夏休みに開催した最終日午後から、近隣の農家の協力のもと、希望者に枝豆収穫体験をしてもらった。地域が連携して子どもを守り育てる意識が高まるとともに、学力の向上とボランティア意識の向上が図られた。

(3) 期中新規事業 (当初計画されなかったが年度中に新規に取り組んだもの)

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
41	農林商工部 観光物産課	秋田県観光連盟との連携事業「秋田花まるっモニターツアー」	県観光連盟が主催するモニターツアーに各自治体からの意向を加えるため、地域と密接な連携を図った上で、情報提供や手配に協力するとともに、当日のツアーに同行し観光連盟スタッフとともにスムーズな運営に当たる。	1	40	地域の観光資源の魅力向上・旅行商品化に対する取り組みを一層促進させるとともに、ツアー参加者の口コミ情報等による県内での一層の流動化や県内への更なる観光誘客が期待できる。また、県観光連盟のホームページを通じてさらなる大仙市の観光情報発信効果が期待できる。
42	教育委員会 施設管理課	学校内敷地環境整備(グレーチング運搬・設置)	大曲南中学校の校内敷地側溝にはグレーチング(鋼材を格子状に組んだ溝蓋)の設置がなく、生徒や関係者、自動車が出入りする際に危険な状態となっているため、他業務により余分となったグレーチング材を大曲南中学校に運搬し設置を行った。	1	2	既存資源の活用と職員の工夫により学校敷地内の環境整備を行い、概算で126,950円の経費削減が達成された。
43	教育委員会 生涯学習課	学びい囲碁サロン	小中学生、女性のための囲碁対局の場を提供し、加えて児童の一人勉強のサポートするため、大仙市子ども囲碁普及指導者会との協働による囲碁サロン・勉強会を運営する。(毎週金曜の6時から大曲地域職業訓練センターで実施。)	27	334	囲碁の普及と学習習慣および読書習慣の定着が図られた。
44	教育委員会 総合図書館	行政支援サービス事業	より迅速で内容の充実した市民サービスを行うため、職員グループウェアを活用した「行政ビジネス支援通信」の配信や、行政に関する図書資料のデータ化、貸出、予約など、行政業務に必要な情報を職員に提供する支援活動を行う。	貸出団体数 21	貸出冊数 110	平成22年度は、映像作品上映のためのDVD貸出や、参加者の読書推進をねらったサンプルとしての貸出が多く見られた。 催しに併せて資料を活用することは、図書館サービスのPRがイベント参加者へも波及するためより有効的な利用となっている。今後も図書館サービスのPRと、利用の啓発に努めていく。

No.	実施部署	事業名	事業内容	実施回数	参加人数	事業効果
45	教育委員会 総合市民会館 (大曲市民会館)	大曲市民会館 「ボックス ステージ アー」 『歌舞伎の舞 台裏をのぞい てみよう』	大曲市民会館は秋田県内では唯一「本花道」を備える会館であることから、一般市民を対象に歌舞伎について学ぶミニツアーを松竹大歌舞伎の前日に実施する。大スクリーンでのVTR「歌舞伎公演・舞台裏の基礎知識」鑑賞や、舞台裏・キャットウォーク見学、「花道」や「所作台」に上がっての「桧舞台」体験など、古典芸能の歴史、舞台の成り立ちや、舞台機構について学ぶ機会を提供する。	2	88	参加者は市広報で募集したが、事前に新聞記事として取り上げられたため、多くの参加応募があった。大曲市民会館に親しみを持ってもらうとともに、自主事業への関心を高めてもらうことで、古典芸能の知識や見聞の啓蒙にもなり、市民会館を身近に感じてもらえる良い機会となった。
46	教育委員会 スポーツ振興課	スポーツ合宿 等誘致推進事 業	スポーツ振興による地域の活性化を目的として、県外の大学および高等学校やスポーツ団体等の合宿を招致するため、合宿プランの作成と情報提供を行う。また、スポーツ合宿を実施する際には、地域ならではの特色を活かしたきめ細かな支援を行う。	6	320	市内施設を利用したスポーツ合宿を招致することにより、市民が高レベルなスポーツに触れる機会を得ることができた。さらに地域交流を積極的に推進することで、全国に大仙市を発信し地域経済の活性化も図られた。
47	教育委員会 西仙北分室	子ども体験教 室（七夕まつ り）	七夕を通じて自然界の動植物に与える影響などについて学ぶ機会を設けるため、「アウトドアクッキング」や「自然環境を考えるDVD視聴」、「七夕飾り作り」を実施する。	1	36	七夕を通して星空、星座に関心をもち、きれいな星空を守るためには、自然環境も重要な役割を果たしていることを学んでもらうことができた。また、アウトドアクッキング体験では電気に頼らず、身近にある材料で工夫して調理することで「生きる力」を育むことができた。

平成23年度ゼロ予算事業 事業計画一覧表

資料 2

No.	提案部署	事業名	事業内容	区分
1	企画情報システム課	市民向けパソコン基礎講習会「出前講座パソコン教室」	市民全体の情報活用能力の向上を図ることを目的として、市職員によるパソコン基礎講習会を大仙市各地で実施する。	継続
2	企画情報システム課	就業支援パソコン基礎講習会	厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、再就職や就業に役立つために必要と考えられる情報活用能力の向上と就労への支援を図ることを目的として、市職員および神岡IT講座指導補助員によるパソコン基礎講習会を実施する。	継続
3	企画男女共同参画交流推進課	国際交流員（CIR）異文化理解出前講座	国際交流員（CIR）の文化紹介をとおして、異文化理解を深めることを目的として、国際交流員が母国の言葉・文化・伝統的な遊び等を紹介する。	継続
4	企画男女共同参画交流推進課	パパリストを活用した男性にとっての男女共同参画の推進	パパリストを活用した男性にとっての男女共同参画を推進する。 パパパワーUP講座や料理教室の参加者等に対して、パパリストのメリットをPRし登録者を増やす。登録者の得意分野を活かして、登録者が講座や教室の講師やサポーターとして地域に参画する機会を設け、登録者の情報や体験談等を広報やホームページで紹介する。パパリストを活用した取り組みを積極的に行うことで、パパリストとその活動内容の周知を図り、幅広い市民参画を目指していく。	新規
5	企画男女共同参画交流推進課	施設標識及びリーフレットの多言語化	市民の市役所訪問時の利便性を高めるため、機構改革による市役所の各課の名称等および主な施設の案内標識を多言語標記する。また、市窓口で発行しているリーフレット等を多言語化し、市民課等で在住外国籍住人に配付している資料を多言語化する。	新規
6	市民環境交通安全課	ごみ減量意識啓発事業	多方面からごみ排出に対する意識の啓発を行うことを目的とし、事業者と協議の上、市内遊技場に設置されている電子広告掲示板を活用し、ごみ減量および地球温暖化防止に関する標語等を掲示する。	継続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
7	市 民 部 課 環 境 交 通 安 全 課	事業所のごみ排出意識啓発事業	事業活動にともなう生ずる一般廃棄物は、一般廃棄物収集運搬許可業者に収集運搬を委託しているケースが多いことから、事業系一般廃棄物の排出に対する意識の向上を図るため、市内各事業所を訪問し分別に関する啓発活動を行う。あわせて、ごみに関する問い合わせ先を周知する。	新 規
8	農 林 商 工 部 課 農 林 振 興 課	鮭の稚魚の成長観察	秋に玉川漁場で採捕し、市営水産ふ化場にて受精させた鮭の卵を、希望する市内小学校へ配布し、ふ化の瞬間とその後の成長観察、給餌等の作業を体験させ河川に放流することにより、自然環境や生命の大切さ等を学んでもらう。また、鮭は海を回遊し3～4年後には、子孫を残すため生まれた川に帰ることから、短期間でも鮭の成育にかかわることにより、郷土の大切さを学んでもらう。	継 続
9	農 林 商 工 部 課 商 工 観 光 課	J Rとの連携事業 「駅からハイキング」	J Rが主催するウォーキングイベントである「駅からハイキング」へ、市内コースを提案する。案内人・休憩所等の情報提供や手配に協力するとともに、当日のハイキングに同行しJ Rスタッフとともにスムーズな運営に当たる。首都圏からの誘客、近隣参加者の流動などで観光振興を図るとともに、J Rのパフレットおよびホームページを通じて大仙市の観光情報を発信する。	継 続
10	農 林 商 工 部 課 企 業 対 策 課	県南地区職場研修事業	就職してから短期間に離職する新卒就職者への対策として、県南地区の雇用開発協会（大曲・横手・湯沢）や事業所・高等学校等と連携し、県南地区の高校3年生および大曲技術専門校生を対象として事業所の見学や研修を行い、仕事に対する認識を深め自己適正を判断する機会を提供する。	継 続
11	農 林 商 工 部 課 企 業 対 策 課	仙北地域雇用促進就職面接会	雇用環境が厳しい状況の中、求職者の就職支援と企業の人材確保を目的として、ハローワーク大曲・角館、仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町からなる「仙北地域雇用促進連絡会議」の主催により就職面接会を開催する。	継 続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
12	農 林 商 工 部 課 企 業 対 策	大仙市オリジナル名刺作成	県内外において、市職員並びに市議会議員、商工団体、市出身者など広く市関係者が大仙市をアピールすることにより企業誘致、観光振興につなげるため、市内印刷業者の協力を得て、「秋田県大仙市は企業誘致に取り組んでいます」「私は秋田県大仙市を応援しています」の一文が入り、大仙市の位置図や観光名所などを写真、イラスト等で紹介するフルカラーの見開き名刺の台紙を作成する。平成23年度も他の名刺と差別化し、大仙市をアピールするためのデザインを考案する。	継 続
13	農 林 商 工 部 課 企 業 対 策	市内企業データベースの公開	管外企業並びに管内企業同士の受発注支援を図るため、企業情報を一元化して「業種別」「五十音順」の2カテゴリから企業情報を検索できるデータベースを作成し、市のホームページに掲載する。企業訪問により市内企業へ登録の案内をし、希望する企業の情報を迅速に掲載する。現在登録の17社から平成23年度は30社の登録を目標とする。	継 続
14	農 林 商 工 部 課 各 支 所 市 民 サ ー ビ ス 課	シルバー人材センター 地域窓口支援事業	大仙市シルバー人材センターが行っている地域窓口業務について、サービス利用者である市民とサービス提供者であるシルバー会員双方の利便性向上を図るため、市民からの作業依頼にともなう注文依頼の仮受付業務とシルバー会員から提出される就業報告書の送致に関する業務を市が協力する。	新 規
15	中 仙 支 所 農 林 建 設 課	八乙女公園桜守プロジェクト0予算 事業	市の事業である「桜守プロジェクト」と連携して、八乙女公園の桜保全作業を行う。木に巻き付いている「蔓」の除去や「下刈り」作業、「ケイピン（薬剤）」による「葛」除去作業を行う。	継 続
16	教 育 委 員 会 部 課 教 育 指 導 総 務	樹木の剪定及び伐採処分等事業	学校現場からの要望および巡回の過程で、倒木や枝折れの恐れがある場合や、交通の妨げ、あるいは近隣の施設等に迷惑がかかっている樹木の剪定および伐採処理作業を職員が敏速に行う。	継 続
17	教 育 委 員 会 部 課 教 育 指 導 総 務	校庭内ライン引き	幼稚園、小中学校の校庭内駐車場および通路での事故を防止するため、また経費節減のため、職員がライン引きを行う。	継 続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
18	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	大人のための名文講読	1冊の本を様々な切り口からとらえる眼を養い、梗概を書くコツをつかんでもらうため、1冊の本を取りあげ意味を明らかにしてゆく購読を月1～2回の回数で行う。関連する書籍、資料等広く書籍を紹介し、読書の幅を広げてもらうよう努める。	継 続
19	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	学びい囲碁サロン	小中学生、女性のための囲碁対局の場を提供し、加えて児童の一人勉強をサポートするため、毎週金曜の6時から大曲地域職業訓練センターにおいて、大仙市子ども囲碁普及指導者会との連携による囲碁サロン・勉強会を実施する。	継 続
20	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	花館地区歩こう会	花館地区の歴史や自然に触れながら理解を深めつつ健康増進を図ることを目的として「歩こう会」を実施する。平成23年度は平成22年度に引き続き再び秋田駒ヶ岳を目的地とする。秋田駒ヶ岳は、高山植物の種類の豊富な山であり、その咲く花の種類が最も多い時期(6月下旬～7月上旬)に「歩こう会」を開催することで、自然に親しみつつ健康増進を図りながら、参加者同士の親睦を深めることによって、コミュニティ意識の醸成につながることを期待される。	継 続
21	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	角間川囲碁教室	子ども達の教育向上や高齢者の認知症予防など脳を活性化させる効果を期待して、小学生・大人(初心者から有段者まで)を対象に地元の指導資格を持った講師2名を迎え囲碁教室を開催する。	新 規
22	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	アクアキッズフェス	全国のB&G海洋センターで全国一斉に行われる水中運動会で、小学生4人一組でエントリーし、泳げなくても楽しめる5種類の水中競技に挑戦し、タイムを競う。	継 続
23	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	ふるさと発見事業	神岡の自然を撮影したビデオやDVDを作成し、学校教材として市内の小中学校に貸し出しする。これまで12枚の作品が完成しており、今後も引き続き作成するほか文化祭などの機会に上映し、多くの方に鑑賞してもらう。	継 続
24	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課	こども自主体験事業	アンケート等で子どものやりたいことを探り、出された中から必要性の高い物を厳選して、料理・音楽・工作・スポーツ等の初歩の技術を身につけるための講習会を開催する。	継 続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
25	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 神 岡 公 民 館	出前講座	地域の団体の求めに応じて、必要な講習会・研修会の講師を斡旋する。	継 続
26	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 西 仙 北 中 央 公 民 館	子ども体験教室	たくましく生きる力を育み、自然や環境を大切にする心を養うため、小・中学生を対象に休日や長期休暇を利用して自然や文化、地域の人材を活用した様々な体験活動を実施する。	継 続
27	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 協 和 公 民 館	子ども教室（のびのびきりん教室2011バージョン）	就学前の子どもを対象に、地域住民や小学校との連携をとり同じ経験ができるようにいろいろな活動、交流を企画し実施する「のびのびきりん教室2011バージョン」を開催する。	継 続
28	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 協 和 公 民 館	自主事業におけるキッズルーム（託児）開設	協和公民館主催による事業実施時に、保育士取得者である職員の指導のもと市民センター和ピアにおいて、幼児を対象としたキッズルーム（託児）の開設を行う。子育て中の若い世代を対象に託児を行うことで、自主事業の誘客を図るとともに、核家族が多くなっている現在、子育て支援をすることで地域活動の場を提供する。	継 続
29	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 南 外 公 民 館	なんがいキッズプロジェクト	（1）『こんなに広い私たちの大仙』（南外地域小学3年生対象） 市内の名所を視察・見学することで「ふるさと大仙」の意識を涵養するため、社会科見学バスツアーを実施する。 （2）『ふるさと私たちの南外』（南外地域小学2年生対象） 身近ではあるが意外に知られていない南外地域を探検することで、南外の伝統文化を体験し、興味関心を深めることを目的に、探検バスツアーを実施する。	継 続
30	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 仙 北 公 民 館	仙北ふれあい文化センター環境整備大作戦	ふれあい文化センター敷地内の竹林や紫陽花などの園芸管理について、関心のある住民と職員の協働により、地域の園芸栽培に詳しい方の指導を仰ぎながら管理のコツを学び、環境整備を実施する。	継 続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
31	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 太 田 公 民 館	「太田学びい教室」&「太田てらこ屋」(自主的な学力レベルアップ事業)	<p>(1)「太田学びい教室」(夏期・冬期長期休業中・小中学生対象) 夏期、冬期の長期休業中に太田公民館で小・中学生を対象とした学習会を開催する。高校生ボランティアや小・中学校教諭、元教諭、教育委員会職員などが講師を務め、苦手教科の克服・学習意欲の向上を図る学習会を開催する。作文や感想文、英語や書道など、苦手意識の強いもの、なかなか一人では取り組みづらいものも指導者を配置することで苦手意識の克服を図る。</p> <p>(2)「太田てらこ屋」(夏期休業中・小中学生、高校生対象) 東京学芸大学附属高等学校野球部の部員、OB、教諭を指導者に迎え、交流を図りながら大仙市の小・中学生、高校生のさらなる素養のレベルアップを図る。夏休み中の2日間、太田公民館と太田文化プラザで実施し、「読み書き算盤」のノウハウと、ひらめきのヒント・アドバイスを指導していただき、自ら学ぶ意欲と研鑽を積む。</p>	継 続
32	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 太 田 公 民 館	ゲストティーチャー紹介事業	「開かれた学校づくり」やサークルの代表者、特技をもった人など、公民館事業で培われた人脈を生かし、総合的な学習や各教科でゲストティーチャーとして活躍できる方々のリストを作成・紹介し、昔遊びや田植えの体験指導、和楽器演奏の指導や講師の実体験を通じた講話などをテーマとした授業に生かすことで、授業内容の浸透・活性化を図る。	継 続
33	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 太 田 公 民 館	少年少女野球教室 i n おおた	プロ野球OBの指導により、少年少女の野球技術の向上と野球を通じた地域間の交流を目的として、毎年5月の連休中に、大仙市スポーツ少年団太田支部野球団員を対象に野球教室を開催する。	継 続
34	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 太 田 公 民 館	公立図書館と学校図書館との連携	「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」を推進するための重点施策として「子ども読書支援センター」の設置を掲げており、子ども読書の推進を遂行する上で公立図書館と学校図書館の連携は不可欠となっていることから、月に最低1回図書館職員(司書等)が学校を訪問し、学校図書担当教師より学校図書館の現状を聴取し、環境整備の強化を図る。また読み聞かせへの図書館ボランティアの派遣や、小・中全校一斉読書(朝読書)への文献紹介などを図りながら児童・生徒が自主的に読書に親しめる環境を作っていく。	継 続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
35	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 総 合 市 民 会 館	「バックステージツアー」 & 「君こそスターだ！」	<p>(1) 大曲市民会館「バックステージツアー」 一般市民を対象として、大曲市民会館・大ホールの舞台裏を見学するツアーを実施する。普段は立ち入りできない楽屋・機材庫・キャットウォーク・ピンスポットルーム・屋上などを探検しながら、実際に舞台上がってもらい、舞台機構や照明等を説明する。具体的には、「雪籠」での「雪」の演出の仕組みや「所作台」の「音」の仕組みなどを説明し、感触を味わってもらおう。</p> <p>(2) 中仙市民会館「バックステージツアー」 中仙市民会館のホールを会場に、市民を対象とした舞台芸術に係るステージ運営の装置や機器操作を見学してもらい、舞台芸術への理解を深めてもらう体験ミニツアーを実施する。</p> <p>(3) 協和市民センター「バックステージツアー」 地元児童を対象として、夏休みまたは冬休み期間を利用し、協和市民センターのバックステージ（キャットウォーク、舞台機構等）を見学し、照明・音響の効果などを肌で感じてもらう体験ミニツアーを実施する。</p> <p>(4) 仙北ふれあい文化センター「君こそスターだ！」 ふれあい文化センターのイベントホールステージを利用して、地元アマチュアバンドやカラオケ愛好会の方々に本番同様の舞台音響・照明を体験していただき、舞台芸術への理解を深めてもらう。</p>	継 続
36	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 文 化 財 保 護 課	大仙市文化財めぐり	<p>(1) 一般向け 市民バスを利用した文化財見学ツアーを行う。見学地には、史跡名勝等の他、発掘調査現場、洋館修復現場、庭園整備作業現場、古文書調査現場、仮称昔の暮らし体験館（旧峰小）等の整備作業現場等を加えることで、文化財の保存と整備、活用に対する普及啓発を図る。</p> <p>(2) 小学生向け 大仙市内にある文化財に年少期から興味をもってもらい、将来の学芸員や研究員志望者や文化財に関心をもってもらえる市民の方々を増やすことを目的として、市民バスを利用した小学生向けの文化財見学ツアーを行う。小学5，6年生の歴史文化・郷土学習が可能な年齢を対象とし、夏休み中の期間を利用して、発掘調査現場見学と現場体験、仏像見学と座禅体験、弘田柵南門登門体験など、各種体験型プログラムを交える。</p>	継 続

No.	提 案 部 署	事 業 名	事 業 内 容	区 分
37	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 文 化 財 保 護 課	市民等が主催して行われる講座や座談会等への講師派遣事業	公民館主催講座を始め、市民が主催して行われる講座や座談会等において、文化財保護についての普及啓発を図るため、職員が訪問し講師として文化財保護についての講演などを行う。全市的な話題としては、払田柵跡や池田氏庭園、古四王神社、大綱引き、国宝鏡などについての普及広報を対象とする。このほか市内各地域で圃場整備等に関する発掘調査が行われていることから、各地域、地元の方々に発掘調査の意義や、調査の進捗報告、調査終了後の報告会等を行い、埋蔵文化財保護についての普及啓蒙を図る。	継 続
38	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 文 化 財 保 護 課	国指定名勝池田氏庭園リーフレット等作成(編集及び監修協力)	国指定名勝池田氏庭園の普及啓蒙のため、名勝庭園を築き地域づくりに貢献している池田家の功績顕彰を目的とする池田家顕彰会(市民団体)と連携し、リーフレットを作成し、発行を行う。	継 続
39	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 文 化 財 保 護 課	文化財庭園活用事業(旧池田氏庭園・払田分家庭園のライトアップ事業)	払田分家庭園は市立公園内に位置し、常時公開されており、地域では紅葉の名所として知られているものの、紅葉期以外の来園者数が少ないことから夏季の払田庭園の魅力を伝えることで、常時維持管理が行われている払田庭園の夏季の活用を推進する。仙北地域最大の催事である「彩夏せんぼく」のイベント・プログラム支援として位置づけ、払田分家庭園の普及啓発とあわせて、新たな魅力創出による地域間交流の促進と文化的観光の振興を図っていく。	継 続
40	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 部 ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ合宿等誘致推進事業	スポーツ振興による地域の活性化を図るため、県外の大学および高等学校やスポーツ団体等の合宿を招致するべく、各学校・団体・旅行観光企業等へ合宿プランを作成し情報を提供する。また、合宿実施の際には暖かく迎える地域交流を積極的に推進し、知名度の向上と観光宣伝および地域経済の活性化も図られるよう努める。	継 続

平成22年度実績				平成23年度計画			
担当部署	当初新規	当初継続	期中新規	担当部署	新規	継続	
企画部	情報システム課	2		企画部		2	
	男女共同参画・交流推進課	4		男女共同参画・交流推進課	2	1	
市民生活部	環境課	1	2	市民部			
				環境交通安全課	1	1	
農林商工部	農林振興課		1	農林商工部			
	商業労政課		2	農林振興課		1	
	観光物産課		1	商工観光課		1	
	企業対策室	1	1	企業対策課	1	4	
中仙総合支所	建設課	1		中仙支所			
				農林建設課		1	
教育委員会	施設管理課		1	教育委員会 教育指導部			
	生涯学習課	1		教育委員会 生涯学習部			
	花館公民館		1	生涯学習課		2	
	角間川公民館	1		花館公民館		1	
	文化財保護課	1	3	角間川公民館	1		
	総合図書館	1		神岡公民館		4	
	総合市民会館		1	西仙北中央公民館		1	
	スポーツ振興課			協和公民館		2	
	神岡分室	1	3	南外公民館		1	
	西仙北分室			仙北公民館		1	
	協和分室		3	太田公民館		3	
	南外分室		1	総合図書館		1	
	仙北分室		2	総合市民会館		1	
太田分室		4	文化財保護課		4		
			スポーツ振興課		1		
小計	8	32	7	小計	5	35	
合計	47			合計	40		